

【添付資料】出演者プロフィール

斉藤由貴



1984年、「少年マガジン」（講談社）第3回ミスマガジンでグランプリに選ばれる。同年、明星食品「青春という名のラーメン・胸騒ぎチャーシュー」のCMが話題を呼ぶ。1985年2月、『卒業』で歌手デビュー。4月「スケバン刑事」（CX）で連続ドラマ初主演。12月公開「雪の断章 -情熱-」で映画初主演。1986年連続テレビ小説「はね駒」（NHK）のヒロインに抜擢。1987年「レ・ミゼラブル」で初舞台を踏む。以降女優、歌手として幅広く活躍。

歌手としては、1986年8月に発売された7枚目のシングル『青空のかけら』が、オリコン週間チャートで1位を獲得。1989年4月に発売された12枚目のシングル『夢の中へ』は、主演ドラマ「湘南物語」の主題歌にも起用され自身最大のヒット曲となる。近年も精力的に歌手活動は続けており、

2021年2月21日に歌手デビュー35周年を記念したセルフカバーアルバム『水響曲』を発売。昨年2月21日、歌手デビュー40周年を記念したセルフカバーアルバム『水響曲 第二楽章』を発表し、36年ぶりの全国ツアーとなる「斉藤由貴 40th Anniversary Tour “水辺の扉”～Single Best Collection～」をスタート。全国7ヶ所8公演のすべてがSOLD OUTとなり、大盛況に終わる。

武部聡志（音楽監修・ピアノ）



作・編曲家、音楽プロデューサー。

国立音楽大学在学時より、キーボーディスト、アレンジャーとして数多くのアーティストを手掛ける。1983年より松任谷由実コンサートツアーの音楽監督、吉田拓郎、望海風斗等のLive音楽監督を担当。一青窈、今井美樹、平井堅、JUJU等のプロデューサー、CX系ドラマ『BEACH BOYS』『西遊記』etcの音楽担当、CX系『MUSIC FAIR』『FNS歌謡祭』の音楽監督、スタジオジブリ作品『コクリコ坂から』『アーヤと魔女』の音楽担当、最近では、映画『THE FIRST SLAM DUNK』『室井慎次 敗れざる者 / 生き続ける者』の音楽担当、『Yuzuru Hanyu ICE STORY 2023 “GIFT”』の音楽監督等、多岐にわたり活躍している。『billboard classics Premium Orchestra Concert』シリーズでは、薬師丸ひろ子、川崎鷹也、KREVAのプロデュースを手がけた。

武部聡志公式サイト：<https://www.htmg.com/management/satoshi-takebe/>

岩城直也（指揮・編曲）



イマジネーション溢れるオーケストレーションや、色彩豊かな唯一無二のサウンドを創り奏でる、作・編曲家、鍵盤奏者、指揮者。

東京音楽大学在学中に玉置浩二オーケストラ公演の編曲を担当したのを皮切りに、これまでに八神純子、佐藤竹善、スガシカオ、斉藤由貴、一青窈、城田優などヴォーカリストや、小曽根真、Robert Glasper、Lang Langなどのアーティストの編曲、土屋太鳳（監督・主演）& 有村架純（出演）のショートフィルム『Prelude』などの映画音楽、テーマパーク音楽、CM音楽などの作曲を手掛ける。また根本要、鈴木雅之、中山美穂、小林武史らとの共演を重ねる。東京音楽大学 作曲〈映画・放送音楽コース〉首席卒業。パークリー音楽大学に奨学金を得て留学後、日米の垣根を超え活動。NHK『うたコン』番組指揮者。

岩城直也公式X：<https://x.com/Naoyalwaki>

神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra



1981年、神戸市により「神戸室内合奏団」として設立。実力派の弦楽器奏者たちによって組織され、弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発に行う。これまでにゲルハルト・ボッセや岡山潔など音楽界の巨匠を音楽監督に迎え、国内外の第一線で活躍する指揮者・ソリストとの共演を重ねてきた。2018年より管楽器奏者が加入したことを機に、「神戸市室内管弦楽団」と改名。2021年には世界的なチェリストであり指揮者の鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求を続けている。定期演奏会の他にも、地域へのクラシック音楽普及や、音楽を通して地域の抱

える課題に取り組むなど、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。神戸文化ホールの専属団体。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

Naoya Iwaki Pops Orchestra (NIPO)



バークリー音楽大学で研鑽を積み、玉置浩二、小曾根 真、ロバート・グラスパーなど国内外のアーティスト作品や公演に携わり、作・編曲家としてキャリアを重ねる岩城直也が中心となって2021年に設立。コンサートマスターは大槻桃斗。1930～50年代に欧米で流行したポピュラー音楽のアレンジ方法である〈トラディショナル・ポップ〉を手掛かりに、世代を超えて愛される幅広いポップス音楽に煌めきを与え、新しい魅力を引き出す世界随一の音楽集団を目指す。小編成アンサンブルからストリングス、フルオーケストラ編成まで多様なスタイルとアレンジのレパートリーを持つ。これまでに武部聡志、八神純子、佐藤竹善、薬師丸ひろ子、スガシカオ、斉藤由貴、一青

窈、クリス・ハート、城田優、川崎鷹也など、数々の日本を代表するアーティストと共演を重ねる。

Naoya Iwaki Pops Orchestra 公式 X : https://x.com/nipo_official